令和7年度（2025年度）中学校道徳科用

「中学生の道徳」 年間指導計画作成資料　第1学年

学年の基本方針　○○○

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、 〇基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
5月 （3時間）	6	**ある日のバッターボックス**	C11	公正、公平、社会正義	公平であること	生き生きとソフトボールをするOさんと子どもたちの姿に触れた筆者の心情について考えることを通して、誰に対しても公平であることのよさや大切さに気づき、差別や偏見をなくし、誰もが生き生きとできる社会の実現に努める道徳的態度を養う。	★公平を実現するためには、何が大切だろうか？ 1、教師の語りかけで題材への意識づけを図る。 2、公平を実現するためには何が大切かを考え意見交流する。 自分を見つめて考える ◎筆者がこの日の出来事をいつまでも忘れられないのはどうしてなのだろう。 考えを深める 〇子どもたちがこのルールを作ったのは、どのような気持ちからだろう。 3、公平な社会を実現するために、自分には何ができるのか考え、記述する。	●登場人物の心情をさまざまな視点からとらえ、誰に対しても公平であることのよさや大切さについて考えを深めている。その様子が授業中の交流からうかがえる。 ●筆者の心情を自分に置き換えて想像したり、自分の考えを見直したりする。そして誰に対しても公平である事のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・保健体育科―球技（ベースボール型）／体育理論 ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） 【現】いじめ防止の指導、人権教育／福祉教育
6月 （4時間）	7	**魚の涙**	D22	よりよく生きる喜び	自分に恥じない生き方	筆者の主張を参考にしながら、いじめには道徳上どのような問題があるかを考えることを通して、さまざまな人間の弱さや醜さ、強さや気高さの存在に気づき、自己の良心に従って、人間らしさを大切に生きようとする道徳的実践意欲を培う。	★いじめのない世界にするためには、どのような心が大切なのか。 1、本時の題材を知る。 2、いじめの構造をもとに、いじめのない世界にするためにどうしたらいいか考え話し合う。 マイ・プラス Step1 〇いじめが起きるのはどうしてだろう。狭い閉じた世界だと起きやすいのは、なぜだろう。次の三つの視点で、話し合ってみよう。 マイ・プラス Step2 ◎いじめのない世界にするために、あなたが特に大切にしたい心は何だろうか。 3、授業を振り返り考えをまとめる。 （Thinkingを読んでいじめについて考える。）	●友達の考えを聞きながら、いじめの根底にある心をさまざまな視点からとらえ、人間の弱さや醜さ、強さや気高さについて考えを深めている様子が授業中の交流に見られる。 ●いじめがなくならないことの難しさを理解しながら、それでもいじめのない世界を目指すことについて、自分の思いや考えを見つめている様子が発言や記述に見られる。	・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） 【現】いじめ防止の指導、人権教育 【D】資料付き
	8	**裏庭での出来事**	A1	自主、自律、自由と責任	自律的な行動と責任	葛藤を乗り越えて真実を告白することを決断した健人への共感的な理解を通して、自律的な行動の難しさと大切さに気づき、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。	★自律的な行動を支えるのはどのような心なのだろう。 1、教材の概要を知る。 2、健人の決断を支えていたものについて考え意見交流する。 自分を見つめて考える ◎健人は、どのようなことを考えて、職員室に向かうことを決めたのだろう。 考えを深める 〇健人が大切にしたかったのは、何だろう。理由もあわせて考えてみよう。 3、自分自身に照らして考える。 自分との対話 〇健人のように、自分で考えて行動することに迷ったことはあるだろうか。	●職員室に向かう健人の心情と判断をさまざまな視点でとらえ、自律的な行動と責任の大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●職員室に向かう健人の心情と判断を自分自身に置き換えて想像し、自律的な行動と責任の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決）
	9	**目標は小刻みに**	A4	希望と勇気、克己と強い意志	目標を設定し、着実にやり遂げる	小さな目標を設定し、それらを達成していくことで完走することができた筆者の心の動きを考えることを通して、目標達成が希望や勇気を生み出すことに気づき、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。	★目標を設定してやり遂げるには、どのようなことが大切なのだろう？ 1、入学時の目標を振り返る。 2、筆者を支えたものについて考え意見交流する。 自分を見つめて考える ◎途中でくじけそうになりながらも筆者が最後まで走り切ることができたのは、どうしてだろう。 考えを深める 〇目標を小刻みにすることには、どのような意味があるのだろう。 3、自分自身に照らして考える。 自分との対話 〇あなたが今抱いている目標について、「小刻みに」考えてみよう。	●決勝線まで走り切った筆者を支えたものをさまざまな視点からとらえ、目標に向かって困難や失敗を乗り越えてやり遂げることについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●自分の目標を振り返り、着実にやり遂げることについて、自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。	・国語科―読むこと ・保健体育科―陸上競技（長距離走） 【現】スポーツ
	10	**釣りざおの思い出**	A2	節度、節制	節度を守る	釣りに夢中になるあまり門限を破ってしまった「私」の心の動きについて考えることを通して、節度を守ることの難しさに気づき、節制に心がけ安全で調和のある生活をしようとする道徳的実践意欲を培う。	★なぜ人は節度を守れないことがあるのか。 1、自分自身の生活を振り返る。 2、「私」の心を通して、節度を守れない心の弱さについて考え話し合う。 自分を見つめて考える 〇玄関に立ち尽くしている「私」は、どのようなことを思っていたのだろう。 考えを深める ◎約束の時間を過ぎることに気づいてから「私」が考えたことは、本心なのだろうか。理由もあわせて考えてみよう。 3、自分自身に照らして考える。 自分との対話 〇あなたなら、ついやめどきを見失いそうになってしまったとき、どうするだろうか。 （Thinkingを読んで自分自身を振り返る。）	●門限を過ぎてしまうのに釣りをやめられなかった「私」の心をさまざまな視点からとらえ、度を過ごしてしまう人間の弱さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●自分自身を振り返って、節度を守り節制を心がけていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。	・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成）

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、 ○基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
7月 （2時間）	11	**自分の番　いのちのバトン**	D19	生命の尊さ	生命の連続性	「自分の番　いのちのバトン」を読んで、どのようなことを感じ、考えたかについて話し合うことを通して、生命が数えきれない祖先から受け継がれ、そして次へと引き継がれていくことに気づき、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的心情を育む。	★「生命の尊さ」について、どのように理解しているだろうか。 1、生命が大切な理由を考える。 2、「自分の番を生きる」ことについて考え話し合う。 自分を見つめて考える ○「自分の番　いのちのバトン」を読んで、あなたはどのようなことを感じ、考えただろう。 考えを深める ◎「自分の番を生きている」とはどういうことなのだろう。 3、自己を見つめ、考えをまとめる。 自分との対話 ○あなたは、どのように「自分の番」を生きたいと考えるか。	●話し合いを通して、友達の感じ方、考え方を理解しようとしながら、生命の多面性や生きることについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●生命の尊さを感じ取りながら「自分の番を生きる」ことについて、自分自身のこれまでの経験や考えを振り返ったり、見直したりしている記述が見られる。	・理科―生命の連続性 ・保健体育科―心身の機能の発達と心の健康 ・技術・家庭科―家族・家庭生活（自分の成長と家族・家庭生活） ・総合―生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ 【現】生命尊重教育
	12	**ネット将棋**	A1	自主、自律、自由と責任	誠実に責任をもつこと	「僕」と敏和の対局への向き合い方や根底にある考え方を通して、自律の精神の大切さに気づかせ、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的態度を養う。	★誠実に自己の責任を受け止めることは、どうして大切なのか。 1、ネット将棋について知る。 2、「僕」と敏明の考え方を比較して自律と成長について話し合う。 自分を見つめて考える ◎明子たちの話を聞いて、「僕」はどのようなことを考えたのだろう。 考えを深める ○どうして敏和は強くなることができて、「僕」は強くなることができないのだろう。 3、学習したことをもとに、自己の振り返りを記述する。	●「僕」と敏和の対局への向き合い方や考え方を通して、誠実に責任を受け止めることの難しさを理解しながら考えを深める様子が授業中の交流からうかがえる。 ●自分の行為を振り返る「僕」を自分自身に置き換えながら想像し、誠実に自己の責任を受け止めることの大切さについて、自己の成長との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・技術・家庭科 ―情報の技術 【現】情報モラル教育 【D】資料付き
9月 （4時間）	13	**言葉の向こうに**	B9	相互理解、寛容	寛容の心	インターネットでの自分のコミュニケーションのあり方を振り返る加奈子が、人はそれぞれさまざまなものの見方や考え方があり、それを受け入れることの大切さに気づくことを通して、寛容の心で他者と接していく道徳的態度を養う。	★寛容の心をもつためには、どのようなことが大切なのだろうか。 1、自身のインターネット利用を考える。 2、加奈子の心の動きを追いながら意見交流する。 いろいろな見方で考える ○反論する言葉がだんだんエスカレートしていく加奈子は、どのようなことを思っていたのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 考えを深める ◎加奈子が忘れていた「一番大事なこと」とは、何だろう。 3、【D】インターネットの利用に関する動画を視聴する。 授業を振り返り考えをまとめる。 （Thinkingを読んでインターネットの良い面と悪い面を知る。）	●加奈子が気づいたことをさまざまな視点からとらえ、寛容の心をもって他者と接していくことの大切さについて考えを深める様子が授業中の交流からうかがえる。 ●加奈子を自分に置き換えて想像したり、自分の考えを見直したりしながら、寛容の心をもって他者と接することについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・国語科―書くこと／言葉の特徴や使い方に関する事項 ・技術・家庭科―情報の技術 ・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成） 【現】情報モラル教育 【D】資料付き
	14	**ライオンが逃げた**	C10	遵法精神、公徳心	情報社会の規律	現代におけるデマを拡散する人々のさまざまな動機について考えることを通して、一人一人が情報発信に大きな社会的責任を負っていることに気づき、社会の秩序を守るために、法や規律を遵守し、規範意識を高めていこうとする道徳的実践意欲を培う。	★情報社会において、私たちが守るべき規律とはどのようなものなのだろう。 1、教材のタイトルから思うことを発表する。 2、デマを拡散した人々の内面についてグループで話し合う。 いろいろな見方で考える ○デマを広げている人は、どのような思いで情報を発信しているのだろう。 昔と今を比べながら考えてみよう。 考えを深める ◎インターネットで情報を発信する人には、どのような心構えが必要なのだろう。 3、授業を振り返り考えをまとめる。 （Thinkingを読んでSNSのよい面を知る。）	● 友達の考えを聞きながら、デマを拡散してしまった人たちの心理を、不安や混乱、悪意、無意識などさまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●自分の情報機器を使用する際の考え方などを振り返りながら、社会の秩序と規律を守ることの大切さについて考えている発言や記述が見られる。	・技術・家庭科―情報の技術 ・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成） 【現】情報モラル教育／防災教育／法教育
	15	**二人の通学路**	B8	友情、信頼	信頼できる友達	幼なじみの健と藍子が、中学生になり周囲からの視線や自身の気持ちの変化に戸惑い、悩みながら成長していく姿を通して、同性間、異性間における友情関係のあり方について考え、豊かな友情関係を築いていこうとする道徳的心情を育む。	★異性間、同性間に関係なく友情を築くためには、どのようなことが大切か。 1、友情を深めるために大切なことは何かを考える。 2、健の心情の変化から、友情を育むために大切なことを話し合う。 いろいろな見方で考える ○健の胸に込み上げてきたもやもやとした気持ちとは、どんなものだろう。 できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 考えを深める ◎これからの二人の関係で大切にしていくとよいことは、何だろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●他者の感じ方や考え方を理解しながら、異性間の友情における悩みや葛藤、信頼に基づく友情を育むための課題についてさまざまな視点からとらえ考えている様子がうかがえる。 ●友情を深めるためにどのようなことが大切か、特に異性間の友情について感じる難しさも理解しながら、自分の考えを深めている発言や記述が見られる。	・保健体育科―心身の機能の発達と心の健康 ・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（男女相互の理解と協力／思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応）

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、 〇基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
9月 （4時間）	16	**アップルロード作戦**	C16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の発展に努める	多くの困難に立ち向かいながらりんご並木をつくり、受け継いでいく飯田東中学校の生徒たちの思いについて考えることを通して、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員として進んで郷土の発展に努める道徳的実践意欲を培う。	★郷土の発展はどのような思いに支えられているのか。 1、【D】動画からアップルロードの様子を知る。 2、東中学校の生徒たちの思いについて考える。 自分を見つめて考える ◎多くの苦難や妨害にもくじけず、生徒たちが「りんご並木」をつくろうと思ったのはどうしてなのだろう。 考えを深める 〇現在の飯田東中学校の生徒たちは、どのような思いで「りんご並木」の世話をしているのだろう。 【D】動画から現在のりんご並木を守る様子を知る。 3、授業を振り返り、自分自身の郷土に目を向けて考えをまとめる。	●生徒たちが幾多の困難にもくじけずりんご並木をつくろうとした思いをさまざまな視点からとらえ、郷土をよりよく発展させることについて考えを深めている様子がうかがえる。 ●飯田東中学校の生徒たちの思いを自分自身に置き換えて想像し、郷土をよりよく発展させていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・国語科―読むこと ・社会科―地理：日本の様々な地域（日本の諸地域／地域の在り方）／歴史：歴史との対話（身近な地域の歴史） ・総合―町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 ・生徒会活動―学校行事への協力／ボランティア活動などの社会参画 ・学校行事―勤労生産・奉仕的行事（各種の生産活動、学校内外のボランティア活動など） 【現】社会参画に関する教育／伝統文化教育／防災教育／食育　／健康教育
10月 （4時間）	17	**三六五×十四回分のありがとう**	C14	家族愛、家庭生活の充実	家族の深い絆	佐江子さんとお母さんとの関係やそれぞれの思いについて考えることを通して、愛し合い、支え合う家族の絆のすばらしさを感じ、家族に対して感謝と尊敬の念をもって敬愛する道徳的心情を育む。	★家族とは、どのような関係なのだろう。 1、家族のイメージについて考える。 2、佐江子さんの思いについて考える。 自分を見つめて考える ◎「三六五×十四回分の『ありがとう』」という言葉には、佐江子さんのどのような思いが込められているのだろう。 考えを深める 〇佐江子さんとお母さんの関係を、あなたはどのように思うだろう。 3、家族に対する自分の思いを見つめる。 自分との対話 〇あなたは、これから家族とどのような関係を築いていきたいだろう。	●佐江子さんにとってのお母さんの存在やお母さんにとっての佐江子さんの存在について考えたことから、感謝と尊敬の念をもって敬愛する家族の存在について考えを深めている様子が授業の交流からうかがえる。 ●自分の感じ方や考え方を振り返りながら、自分と家族との関わりについて考えている様子が見られる。	・技術・家庭科―家族・家庭生活（自分の成長と家族・家庭生活） 【現】生命尊重教育
	18	**パラリンピックを駆け抜けた「きずな」―道下美里**	B8	友情、信頼	信頼の絆	道下さんと青山さんがどのような思いで言葉を交わし、どのように「きずな」を深めていったかを考えることを通して、友情の尊さに気づき、悩みや葛藤を乗り越えながら、友達や仲間と信頼で結ばれた関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。	★信頼で結ばれた関係とは、どのように育まれるのだろう。 1、【D】動画から道下美里さんのことを知る。 2、道下さんと青山さんの思いについて考え意見交流する。 いろいろな見方で考える ◎リオデジャネイロパラリンピックのレース後の夜、青山さんはどのような思いから、翌日の朝練をするか尋ねたのだろう。また、聞かれた道下さんはどう思ったのだろう。 考えを深める 〇東京パラリンピックまでに、道下さんと青山さんはどのような関係を築いたのだろう。 3、本時の学びを踏まえて、自己を振り返る。 自分との対話 〇あなたにとって友達や仲間との「きずな」を感じる場面を思い起こし、その大切さを考えよう。 （Thinkingを読んで友情について考えを深める）	●二人の気持ちが通い合う瞬間をそれぞれの立場からとらえ、相手を心から信頼し、互いに高め合う友情の尊さについて考えを深める様子が、授業中の交流や記述からうかがえる。 ●信頼で結ばれた関係や信頼し合える友情を育んでいくことについて、自分の体験を振り返ったり、自分の考えを見直したりしながら考えている様子が見られる。	・保健体育科―陸上競技（長距離走） ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） 【現】社会参画に関する教育／キャリア教育／スポーツ／福祉教育 【D】資料付き
	19	**島耕作　ある朝の出来事**	C10	遵法精神、公徳心	住みよい社会の実現	朝の満員電車での出来事について、さまざまな人々の視点から考えることを通して、公共の場で、他者への配慮と互いの立場や考えを尊重した言動が大切であることに気づき、公徳を重んじ、住みよい社会をつくっていこうとする道徳的実践意欲を培う。	★公共の場で誰もが気持ちよく過ごすためにどのようなことが大切なのだろう。 1、朝のラッシュ時の満員電車を想起してイメージを膨らませる。 2、場面の再現を行い、それぞれの登場人物の視点から考え話し合う。 マイ・プラス Step1 〇それぞれの登場人物になったつもりで、気持ちを考えてみよう。 マイ・プラス Step2 ◎どのような思いをもてば、この車内が気持ちのよい空間になったのだろう。Step1で考えたことを振り返りながら、自分の言葉で表現してみよう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、発表する。	●自分とは違う感じ方や考え方を理解しながら、登場人物の言い分や心情をさまざまな視点からとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●公共の場での過ごし方について話し合い、自分の生活を振り返り、社会生活の中で守るべき公徳を重んじることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・国語科―言葉の特徴や使い方に関する事項 ・学校行事―旅行・集団宿泊的行事（移動教室、集団宿泊など） 【現】社会参画に関する教育／福祉教育／法教育 【D】資料付き
	20	**銀色のシャープペンシル**	D22	よりよく生きる喜び	良心の声	本当のことを言い出すことができず葛藤する「僕」の心の動きについて考えることを通して、自己の弱さや醜さと向き合い、それらに打ち勝つ良心の声があることに気づき、よりよく生きる喜びを見いだそうとする道徳的実践意欲を培う。	★良心の声とは、どのようなものだろうか。 1、「自分のずるさ」に目を向ける。 2、「僕」の心の動きについて考え話し合う。 自分を見つめて考える 〇「僕」は、どうして卓也からの謝罪の電話をすぐに切ってしまったのだろう。 考えを深める ◎深呼吸をしてゆっくり向きを変えたとき、「僕」は心の中でどのようなことを思ったのだろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●卓也の家の方にゆっくりと向きを変えた「僕」の心情をさまざまな視点からとらえ、自己の弱さや醜さに打ち勝つ良心の声について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●「僕」の心情を自分に置き換えて想像し、自己の弱さや醜さと向き合い、それらに打ち勝つことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決）

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、 〇基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
11月 （4時間）	21	**時速二八五キロ、千三百人を乗せて。**	C13	勤労	働くことの意義	新幹線運転士になるまでの厳しい訓練を乗り越え、日々責任ある仕事に従事する渡辺さんの姿を通して、それぞれの仕事には重みと充実感の両方があることに気づき、勤労の意義について考えようとする道徳的実践意欲を培う。	★働くことには、どのような喜びや充実感があるのだろう。 1、働くことの意義について考える。 2、働くことの喜びについて考える。 いろいろな見方で考える ◎渡辺さんは、娘たちに「働く背中」を見せることで、どのようなことを伝えたいのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 考えを深める 〇働くということは、どのようなことなのだろう。家族や身近な人の仕事も思い浮かべながら考えてみよう。 3、本時の学びを踏まえて、自己を振り返る。 自分との対話 〇あなたには将来就きたい仕事があるだろうか。その仕事の重みとはどのようなところにあるだろう。	●渡辺さんの働く姿についてさまざまな視点からとらえ、仕事のもつ重みや責任、仕事の喜びや充実感について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●働くことの意義について、自分の将来就きたい仕事や身の回りの仕事を想像し振り返りながら考えを深めている発言や記述が見られる。	・総合―働くことの意味や働く人の夢や願い ・学級活動――一人一人のキャリア形成と自己実現（社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成） 【現】社会参画に関する教育／キャリア教育
	22	**町内会デビュー**	C12	社会参画、公共の精神	社会参画と社会連帯	明が町内会の共同作業に取り組んで感じたことや考えたことを共感的に理解することを通して、互いに助け合い励まし合う社会連帯の大切さに気づき、社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努めようとする道徳的実践意欲を培う。	★課題を解決し、よりよい社会にしていくには、どのようなことが大切か。 1、地域や社会との関わりについて自身の行動を振り返る。 2、明の気持ちの変化を考える。 自分を見つめて考える 〇明は「よし。」と言って草や枝を集めて運び始めたとき、どのようなことを考えていたのだろう。 考えを深める ◎明が「なんだか大人になったような気持ちがした」のは、どうしてだろう。 3、地域や社会とこれからどのように関わっていきたいか考える。 （Thinkingを読んで地域で行われているボランティア活動を知る。）	●友達の考えを聞きながら、明の心情をさまざまな視点からとらえ、社会参画や社会連帯のよさや大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●これまでの自分の生活や体験を振り返ったり、学習を踏まえて今後の自分自身について考えたりしながら、社会に参画していくことについて考えている様子が見られる。	・社会科ー地理：日本の様々な地域（日本の諸地域／地域の在り方） ・技術・家庭科―家族・家庭生活（家族・家庭や地域との関わり） ・総合―身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々 ・学級活動――一人一人のキャリア形成と自己実現（社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成） ・生徒会活動―ボランティア活動などの社会参画 ・学校行事―勤労生産・奉仕的行事（地域社会への協力、学校内外のボランティア活動など） 【現】社会参画に関する教育／キャリア教育／防災教育
	23	**初めての実験 ――山中伸弥**	A5	真理の探究、創造	真理を探究する	研究者として新たな可能性を探究し続ける山中伸弥さんの生き方について考えることを通して、人間には答えの分からない問題への強い探究心があることに気づき、自らの好奇心や探究心を大切にして、真理を探究していこうとする道徳的実践意欲を培う。	★真理を探究するためには、どのようなことが大切か。 1、【D】動画から山中さんのことを知る。 2、初めての実験での山中さんの気づきについて考える。 自分を見つめて考える ◎山中さんが初めての実験を通して「自分が研究者に向いている」と感じたのは、どのような自分に気づいたからだろう。 考えを深める 〇山中さんはどのような思いで研究者としての第一歩を踏み出したのだろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●不思議なことを解き明かし続けた山中さんの生き方をさまざまな視点からとらえ、粘り強く探究心をもって探究することについて考えを深める様子が授業中の交流からうかがえる。 ●現在の自分自身の好奇心や探究心について振り返り、真理を探究して新しいものを生み出すことについて自己との関わりで考えを深めている記述が見られる。	・理科―生物の体のつくりと働き ・総合―ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 ・学級活動――一人一人のキャリア形成と自己実現（社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用） 【現】キャリア教育 【D】資料付き
	24	**木箱の中の鉛筆たち**	A3	向上心、個性の伸長	自己を向上させる	自分の才能を疑い落ち込む筆者が、作曲家の父のちびた鉛筆が詰まった木箱から感じ取ったことを考えることを通して、才能は努力によっても得られることに気づき、個性を伸ばしていくことで充実した生き方を追求しようとする道徳的実践意欲を培う。	★個性や才能とは、どういうものなのだろう。 1、「才能がある」と思う人を想起し、本時の課題を意識する。 2、筆者の心情を想像する。 自分を見つめて考える 〇筆者が「父に声をかけたことを後悔した」のはどうしてだろう。 考えを深める ◎木箱の中の鉛筆たちは、筆者にどのようなことを語りかけているのだろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●友達の感じ方や考え方を理解しながら、自分の才能を作り、自己を向上させていくことについて、考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●筆者の心情を自分自身に置き換えて想像し、自己を向上させていくことについて、自己との関りで考えを深めている発言や記述が見られる。	・総合―職業の選択と社会への貢献／働くことの意味や働く人の夢や願い ・学級活動――一人一人のキャリア形成と自己 実現（主体的な進路の選択と将来設計） 【現】キャリア教育
12月 （3時間）	25	**ふたりの子どもたちへ**	D19	生命の尊さ	人間が生きるということ	「私」が手紙に残した、死の淵にいてもなお生き抜こうとする姿や子どもたちへの願いを通して、社会的な生命や精神的な生命など、人が人として生きることの意味に気づき、日常生活や家族に感謝し、自他のかけがえのない生命を尊ぶ道徳的心情を育む。	★人間が生きるということ、人間の生命とはどのような意味があるのだろう。 1、「生きる」ことの意義を考え、学習課題を意識する。 2、自分の命を最大限に生きることについて考える。 自分を見つめて考える 〇「私」は、亡くなるそのときまで、どのように生きたのだろう。あなたの考えを表現してみよう。 考えを深める ◎大人になった子どもたちは、この手紙を読んだときにどんなことを思うだろう。 自分との対話 〇人が「生きる」ということについて、あなたはどのようなことを考えたのだろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●友達の意見を聞きながら、「私」や子どもたちの思いをさまざまな視点からとらえ、人間が生きることの意味について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●子どもたちの思いを自分自身に置き換えながら想像し、精神的な生命や社会的な生命、そして限りある命を生きることについて自己との関わりの中で考えている様子が見られる。	・技術・家庭科―家族・家庭生活（自分の成長と家族・家庭生活） ・総合―生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ 【現】生命尊重教育

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、 〇基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
12月 （3時間）	26	**日本探しの旅**	C17	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統文化の継承と発展	さまざまな伝統と文化を例に「日本らしさ」について考えることを通して、伝統や文化の多様な側面と自国の文化への親しみや愛着の念などに気づき、伝統の継承と新しい文化の創造を通じて、よりよい社会の発展に貢献しようとする道徳的態度を養う。	★日本のよさ、日本らしさとは、どのようなところにあるのだろうか。 1、大切にされてきた日本の伝統文化について意識を向ける。 2、自分が感じる「日本らしさ」について考え、話し合う。 自分を見つめて考える ◎あなたの思う日本らしさとは、どのようなところだろう。美咲と詩織の会話を参考に考えよう。 考えを深める 〇自分の国のよいところをもっと知るためには、どのようなことが大切だろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●他の人の感じ方や考え方を聞きながら、日本の伝統や文化の特徴や本質などをさまざまな視点からとらえて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●自らの経験を振り返ったり、学習を踏まえて自分の考えを見直したりしながら、伝統の継承や文化の発展について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・社会科―歴史：歴史との対話（身近な地域の歴史） ・総合―地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々／ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 【現】社会参画に関する教育／国際理解教育／伝統文化教育／環境教育／食育 【D】資料付き
	27	**夜のくだもの屋**	B6	思いやり、感謝	心の温かさ	くだもの屋のあかりに込められたおじさん、おばさんの善意を知ったときの少女の思いを理解することを通して、相手を思いやり、助け合う心のよさに気づき、思いやりと感謝の念をもって他者と接し、人間愛の精神を深めていく道徳的心情を育む。	★心が温かくなるのは、どんなときだろうか。 1、「あかり」のイメージを想起する。 2、くだもの屋のあかりのわけを知った少女の心情について考え、話し合う。 自分を見つめて考える ◎少女が、「この店のあかりがあんなにあたたかく見えたのは、当然だった」と思ったのは、どうしてだろう。 考えを深める 〇このあと少女は、病院にいる友達にどのような話をするのだろう。 3、授業を振り返る。 自分との対話 〇あなたにも、少女のように誰かの優しさを感じて、受け止めた体験があるだろうか。	●くだもの屋のあかりのわけを知った少女の心情を、さまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●少女の思いを自分に置き換えて想像したり、教材から感じた人間の心の温かさについて考えたりして、思いやりや感謝について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・国語科―読むこと ・音楽科―表現 【現】社会参画に関する教育
1月 （3時間）	28	**語りかける目**	D19	生命の尊さ	自らの命を生きる	母の遺骨を「ナベ」に入れ、語りかける少女の目に宿る思いについて考えることを通して、限りある生命のかけがえのなさを理解し、自他の生命を尊重しようとする道徳的態度を養う。	★自らの命を生きるとは、どういうことか。 1、【D】動画を視聴し阪神・淡路大震災の様子を具体的にイメージする。 2、少女の思いについて想像する。 自分を見つめて考える 〇母は、どのような思いで「ありがとう。もう逃げなさい。」と言ったのだろう。 考えを深める ◎少女の目は、どのようなことを「私」に語り続けているのだろう。 3、授業を振り返り、自らの命に思いを巡らせる。	●友達の考えを聞きながら、少女の目に宿る思いをさまざまな視点からとらえ、生命の尊さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●少女の目に宿る思いを具体的にイメージしながら考え、生命の尊さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・理科―大地の成り立ちと変化 ・総合―防災のための安全な町づくりとその取組 ・技術・家庭科―家族・家庭生活（自分の成長と家族・家庭生活） ・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成） ・学校行事―健康安全・体育的行事（避難訓練、防災訓練など） 【現】生命尊重教育／防災教育 【D】資料付き
	29	**旗**	B6	思いやり、感謝	思いやりと感謝	パッチワークのクラス旗を掲げて少女を励まそうとするクラスメートの思いと少女の思いを共感的に理解することを通して、思いやりの根底にある心に気づき、思いやりの心をもって人と接し、絆を深めていこうとする道徳的実践意欲を培う。	★思いやりの心は、どのようなときに働くのだろう。 1、少女の置かれている状況を想像する。 2、クラスメートと少女の思いについて考える。 いろいろな見方で考える ◎少女の話を聞いた友達は、クラスに帰ってどのようなことを伝えたのだろう。それを聞いたクラスメートの反応も想像してみよう。 考えを深める 〇パッチワークの旗を目にしたとき、少女はどのようなことを思ったのだろう。 3、本時の学びを踏まえて、自己を振り返る。	●友達の考えを聞きながら、少女を思いやるクラスメートの思いをさまざまな視点からとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●少女やクラスメートの思いを自分自身に置き換えて想像し、思いやりや感謝の念に共感し、人間の温かい心について自己との関わりで考えを深めている様子が見られる。	・国語科―読むこと ・技術・家庭科―衣食住の生活（生活を豊かにするための布を用いた製作） ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） 【現】いじめ防止の指導、人権教育
	30	**国際協力ってどういうこと？**	C18	国際理解、国際貢献	国際理解、国際貢献	二つの作文のエピソードに対する自己の判断やその理由について考えることを通して、国際的視野に立って他国を理解することの大切さに気づき、日本人としての自覚をもって国際理解、国際貢献に努める道徳的実践意欲を培う。	★「本当の国際理解」とはどういうことか。また、そのためには何が大切か。 1、【D】ネパールとエチオピアの写真を見る。 2、二つの話の比較を通して、国際協力について考える。 いろいろな見方で考える 〇ネパールの話とエチオピアの話、あなたはそれぞれどう思うだろうか。他の人の意見も聞いて、考えてみよう。 考えを深める ◎「本当の国際協力」には、どのようなことが大切なのだろうか。できるだけ多くの考えをあげてみよう。 3、本時の学びを踏まえて、自己を振り返る。 自分との対話 〇グローバル化が進む中で、あなたはこれからどのようなことに目を向けていきたいだろう。	●友達の感じ方、考え方を理解しながら、それぞれのエピソードにおける判断について、広い視野から多面的・多角的に考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●それぞれのエピソードにおける判断を話し合うことを通して、国際理解、国際貢献に努めることの大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・社会科―地理：世界の様々な地域（世界各地の人々の生活と環境／世界の諸地域）／公民：私たちと国際社会の諸課題（世界平和と人類の福祉の増大／よりよい社会を目指して） ・総合―職業の選択と社会への貢献 【現】社会参画に関する教育／国際理解教育 【D】資料付き

月 （配当時間）	教材名		内容項目		主題名	ねらい	学習指導過程 （「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など） ◎中心発問、　〇基本発問	生徒評価の視点	各教科や領域、 【現】現代的な課題との関連、 【D】デジタル資料
2月 （3時間）	31	**あのハチドリのように ―ワンガリ・マータイ**	D20	自然愛護	自然愛護に努める	破壊された故郷の自然を目にして立ち尽くすマータイさんの心情と決意について考えることを通して、自然環境を大切にすることの意義を理解し、自ら進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。	★自然環境を守るには、どんなことが大切なのだろう。 1、マータイさんについて知る。 2、マータイさんの思いについて考える。 自分を見つめて考える ◎神様の木のあった場所に立ち尽くしていたマータイさんは、どのようなことを考えていたのだろう。 考えを深める 〇「私はこのハチドリなのです。」という言葉には、マータイさんのどのような思いが込められているだろう。 3、本時の学びを踏まえて、自分ができることを考える。	●破壊された故郷の自然を目にして立ち尽くすマータイさんの思いをさまざまな視点からとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●マータイさんの思いを自分自身に置き換えて想像したり、自分の生活を振り返ったりすることを通して、自然環境を守ることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・社会科―地理：世界の様々な地域（世界各地の人々の生活と環境）／公民：私たちと国際社会の諸課題（よりよい社会を目指して） ・理科―生物の体のつくりと働き／自然と人間 ・総合―地域の自然環境とそこに起きている環境問題 【現】国際理解教育／環境教育 【D】資料付き
	32	**ガジュマルの木**	D21	感動、畏敬の念	感動する心	遺跡を覆うガジュマルの木に衝撃を受けたミサキの心を共感的に理解することを通して、美しいものや気高いものに感動する心に気づき、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。	★美しいものや気高いものに「感動する心」とはどのような思いなのだろうか。 1、遺跡について想起する。 2、人間の力を超えたものに触れたミサキの心を想像する。 自分を見つめて考える 〇ミサキが、遺跡に覆うように生えているガジュマルの木を一目見て、動けなくなったのはどうしてだろう。 考えを深める ◎「すさまじい……。」という言葉には、ミサキのどのような思いが込められているだろう。 3、【D】動画を視聴して感動を共有する。 本時の学びを踏まえて、自分を見つめる。	●友達の考えを聞きながら、ガジュマルの木に触れるミサキの内面をさまざまな視点からとらえ、考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●ガジュマルの木に触れたミサキの心を自分自身に置き換えて考え、人間の力を超えたものへの畏敬の念について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・社会科―地理：世界の様々な地域（世界各地の人々の生活と環境、世界の諸地域） ・理科―いろいろな生物とその共通点 ・総合―生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ ・学校行事―旅行・集団宿泊的行事（集団宿泊、野外活動など） 【現】国際理解教育／環境教育 【D】資料付き
	33	**美しい母の顔**	C14	家族愛、家庭生活の充実	家族の深い愛	嫌っていた母のやけどの跡ができた理由を知って、涙を流す「私」の心情を共感的に理解することを通して、自分を育み、成長を見守ってくれる家族の深い愛情に気づき、感謝と敬愛の念をもつ道徳的心情を育む。	★家族はどのような思いで私たちを育ててくれているのだろうか。 1、「きれいな顔」と「美しい顔」の違いについて考える。 2、「私」の心情について考え話し合う。 自分を見つめて考える ◎あとから、あとから涙を流している「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 考えを深める 〇よそのどんなきれいな顔のお母さんよりも、母の顔が美しいと「私」が思っているのはどうしてだろう。 3、本時の学びを踏まえて、自分を見つめる。 （Thinkingを読んで家族について考えを深める。）	●友達の考えを聞きながら、母のやけどの真相を知った「私」の心情をさまざまな視点からとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●「私」の思いを自分自身に置き換えて想像しながら、深い愛情をもって育ててくれた家族への感謝と敬愛について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・技術・家庭科―家族・家庭生活（自分の成長と家族・家庭生活）
3月 （2時間）	34	**いつわりのバイオリン**	D22	よりよく生きる喜び	弱さを克服しようとする自分に恥じない生き方	ロビンからの手紙に涙するフランクの心情について考えることを通して、誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見いだそうとする道徳的心情を育む。	★弱さを克服しようとする自分に恥じない生き方とはどんなものか。 1、本時の題材を知る。 2、フランクの思いについて考え意見交流する。 いろいろな見方で考える ◎涙を流したフランクは、ロビンへの手紙にどのような思いをつづろうと思ったのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 考えを深める 〇ロビンからの手紙で、フランクが取り戻したものは何だろう。 3、授業を振り返り考えをまとめ、記述する。	●ロビンからの手紙に涙するフランクの心情をさまざまな視点からとらえ、誰もがもっている人間らしいよさについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●ロビンからの手紙に涙するフランクを自分自身に置き換えて想像しながら、自分に恥じない生き方を見いだそうとすることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・音楽科―表現（器楽） ・総合―ものづくりの面白さや工夫と生活の発展
	35	**二枚の写真**	C15	よりよい学校生活、集団生活の充実	よりよい学校生活	「二枚の写真」に込められた浩や同級生たち、学校の人々の思いについて考えることを通して、人々の心が一体となった学校のよさに気づき、学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい学校生活をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。	★よりよい学校生活とは、どのようなものなのだろうか。 1、自分にとって学校とはどういうところかを考える。 2、「二枚の写真」に込められた登場人物の思いについて考える。 自分を見つめて考える ◎浩はどのような思いから「写真を撮ってください。」と頼んだのだろう。 考えを深める 〇なぜ宮下は「これが学校だ。」と思ったのだろう。 3、本時の学びを踏まえて自身の学校生活を振り返る。	●病室の浩に手を振る同級生たちの思いをさまざまな視点からとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。 ●同級生たちや浩の思いを自分自身に置き換えて想像したり、自分の考えを振り返ったりしながら、よりよい学校生活について自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。	・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） ・学校行事―儀式的行事（修了式、卒業式など）／旅行・集団宿泊的行事（移動教室、集団宿泊など） 【現】いじめ防止の指導、人権教育／福祉教育